



2017年5月31日

各位

会社名 株式会社 資生堂
 代表者名 代表取締役 執行役員社長
 魚谷 雅彦
 (コード番号 4911 東証第1部)
 問合せ先 IR部長 白岩 哲明
 (TEL. 03-3572-5111)

子会社(株式会社キナリ)の株式等の譲渡に関するお知らせ

当社は、連結子会社の株式会社キナリ(以下:キナリ社)の株式および関連資産を、株式会社スクロール(以下:スクロール社)に譲渡することについて合意しましたので、お知らせいたします。

1. 譲渡の背景

当社は、中長期戦略「VISION 2020」の実現に向け、ブランドポートフォリオを見直し、グループ内の全ブランドのポジショニングや育成方針を検討しています。個々のブランド力を強化するために経営資源の投下先を絞り込む中で、今般、通信販売を中心に展開する自然派ブランド「草花木果」を有するキナリ社の株式および「草花木果」に関連する資産を譲渡することとしました。

譲渡先であるスクロール社は、インターネットやカタログを通じた通信販売事業を展開し、独自の会員組織や販路、インフラに強みを有しており、近年は特に、健康食品や化粧品などのヘルス&ビューティー事業を強化しています。同社は「草花木果」を今後の同事業の成長に貢献できるブランドと評価しており、「草花木果」のブランドコンセプトと、スクロール社が有する会員組織や販路、インフラなどの強みが相乗効果を発揮し、将来にわたる持続的な成長やブランド価値向上につながると判断し、今回の合意に至りました。

2. キナリ社の概要

(1)	名 称	株式会社キナリ	
(2)	所 在 地	東京都中央区銀座七丁目5番5号	
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 坂倉 有	
(4)	事 業 内 容	化粧品等の販売	
(5)	資 本 金	1,000万円	
(6)	設 立 年 月 日	2001年4月	
(7)	大株主及び持株比率	株式会社資生堂 100%保有	
(8)	当社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	上記(7)に記載の通り、当社はキナリ社に対し、100%出資しています。
		人 的 関 係	代表取締役社長 1名を派遣しているほか、キナリ社の監査役 1名は当社の監査部長が兼務しています。また、本日現在、当社からの兼務者が 11名在籍していま

		す。(代表取締役社長・監査役除く)
	取引関係	当社とキナリ社の間では、当社子会社を通じた草花木果ブランドの製品の製造委受託取引等があります。
(9) 当該会社の経営成績		
決算期		2016年12月期
売上高		2,269百万円
営業利益		67百万円
経常利益		51百万円
当期純利益		43百万円
1株当たり当期純利益		215,702円

3. スクロール社の概要

(1) 名称	株式会社スクロール
(2) 所在地	静岡県浜松市中区佐藤二丁目24番1号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役会長 堀田 守
(4) 事業内容	女性向けのファッションウエア、インナーウエア、服飾雑貨、インテリア雑貨、コスメおよび健康関連商材などのカタログ通販およびEC事業
(5) 資本金	5,812百万円(2017年3月31日現在)
(6) 設立年月日	1943年10月1日
(7) 連結純資産	22,495百万円
(8) 連結総資産	37,962百万円
(9) 大株主及び持株比率	丸紅株式会社 8.4% スクロール取引先持株会 5.6% 株式会社静岡銀行 3.7% 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) 3.6%
(10) 当社と当該会社の関係	当社と当該会社の間には、記載すべき資本関係、人的関係及び取引関係はありません。

4. 譲渡株式数、譲渡価額および譲渡前後の所有株式の状況等

(1) 異動前の所有株式数	普通株式 200株(議決権の数:200個 議決権所有割合:100%)
(2) 譲渡株式数	普通株式 200株(議決権の数:200個)
(3) 異動後の所有株式数	0株(議決権の数:0個 議決権所有割合:0%)

※譲渡価額は非開示ですが、当社とスクロール社との交渉の過程において適切なデューデリジエンスを実施し、妥当な金額を算出して決定しています。

5. 日程

(1) 契約締結日	2017年5月31日
(2) 株式譲渡実行日	2017年7月3日(予定)

6. 今後の見通し

本件株式等の譲渡が当社の2017年12月期の連結業績に与える影響は軽微ですが、資生堂グループの今後の収益性向上に資するものと考えています。

以 上